

設問とキーワードから考える 人事トラブル対応



～実務で使える「逆引き人事用語集」を用いて間違いやすいポイントを総整理～

実務で人事労務トラブルがこじれる原因は、インターネットや雑誌等にある情報を適切に取捨選択せず、法制度を誤解したり、誤った問題設定をしてしまうことに原因があります。企業において人事労務トラブルに適切に対応するために必要なのは『正しい問題設定』と『適切な用語選択・検索』です。

そのための素材として、講師作成のオリジナル問題集と用語集(逆引き人事労務用語集)を使い、人事労務の問題への正しいアプローチと誤解・混同しがちな法律・人事用語を解説します。労働法の知識がない方にも役立つ内容になっています。ぜひご参加ください。

日時

令和5年 **7月28日** (金)
10時～16時30分

受講料

10,000円/名(消費税込)

受講方法

①会場受講

ウインクあいち17階セミナールーム
名古屋市市中村区名駅四丁目4-38

②Web受講

Zoomウェビナー使用

講師

中山・男澤法律事務所
パートナー弁護士

高仲 幸雄 氏



講義内容

1. 人事労務問題でトラブルが拡大する要因

- ①雇用主・契約関係を意識しないで報告する
- ②経営陣・上司に報告しやすい内容に『問題設定』自体を変更する
- ③日常用語と法律用語の区別がついていない
- ④出退勤記録や給与計算に関する知識がない(説明できない)

2. 労務問題の正しいアプローチ

- ①いきなり『法律論』に飛びつかない・ネット検索しない
- ②「法律」を日常会話で否定しない
年俸制だから残業代が出ない、「課長」とつければ残業代不要、遅刻3回で1回分の賃金控除、30分単位の残業切り捨ては可能・・・等
- ③報告書で議論をしない(実際の証拠をみる)

3. 人事労務の会議はこうやって仕切る

- ①採用・入社をめぐるトラブル
- ②労働時間・休日をめぐるトラブル
- ③残業代をめぐるトラブル
- ④ハラスメント・メンタルヘルスをめぐるトラブル
- ⑤解雇・退職・懲戒処分をめぐるトラブル
- ⑥トラブル初期対応や社内検討に関するアプローチ

お申込み/お問合せ

ホームページから又は
FAXにてお申込みください。

公益財団法人 愛知県労働協会 労働教育グループ TEL.052-485-7154
(ホームページ) <https://ailabor.or.jp> (E-mail) rodo@ailabor.or.jp

お申込みいただいた方には、受講票・連絡事項・受講料振込用紙等をお送りします。お申込み後2週間を過ぎても受講票等が届かない場合は、お手数ですがご連絡ください。

愛知県労働協会 セミナー | 検索

【受講申込書】 設問とキーワードから考える人事トラブル対応

Y6

FAXでのお申込みはA4のまま切りとらずにお送りください。

FAX.052-583-0585

受講方法選択(いずれかに○)		①会場受講		②WEB受講(受講者 E-mailアドレス記入)	
フリガナ	連絡先及び連絡先住所(勤務先・自宅)○印をつけてください				
	住所 〒	TEL(日中連絡のつく番号をご記入ください)			
受講者氏名	会社名/団体名			フリガナ	
	性別	年齢	歳	部署名	連絡者氏名
受講者[E-mail] ※WEB受講希望の場合、必ずご記入ください。(招待用URL送付先)			メールマガジンの配信 ○印をつけてください 希望する ・ 希望しない ・ 登録済		

※お申込み頂きました個人情報(氏名・住所等)は、お問い合わせや案内文書の送付、返信、本人確認のためだけに使用させていただきます。(公益財団法人愛知県労働協会個人情報保護規程第4条に基づき取り扱います。)

【主催】公益財団法人 愛知県労働協会 【後援】愛知県・愛知県労働者福祉協議会